

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋建築環境性能評価制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	カゴメビル建替プロジェクト	階数	地上11F
建設地	愛知県名古屋市中区錦三丁目1417番	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	500人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年5月 予定	評価の実施日	2021年3月15日
敷地面積	522 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	446 m <sup>2</sup>	確認日	2021年3月19日
延床面積	4,428 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**= BEE 3.4** ★★★★★

★: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算

①参照値	71%
②建築物の取組み	71%
③上記+②以外の	1%
④上記+オフサイト手法	7%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 4.0

音環境	4.4
温熱環境	3.4
光・視環境	4.0
空気質環境	4.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.0

機能性	4.0
耐用性・信頼性	3.8
対応性・更新性	4.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.3

生物環境	3.0
まちなみ・景観	3.0
地域性	4.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 4.1

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.7

建物外皮の熱負荷	4.9
自然エネルギー	4.0
設備システム効率化	4.7
効率的運用	5.0

#### LR2 資源・材料

LR2のスコア = 4.0

水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	4.3
汚染物質回避	3.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化への配慮	4.1
地域環境への配慮	3.2
周辺環境への配慮	3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	食・環境・自然が共存できる都市型ウェルネス建築を目標とする。	
その他	野菜と共に生きる、健康指数を活用し、ウェルネスに配慮した運用を行うシステムを構築する。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
執務室への昼光制御利用等で室内環境に配慮しつつ省エネを図る。	一人当たりの執務スペースの確保、執務室のコンセント容量確保、将来を見据えた更新スペース確保等でサービスに配慮した計画とする。	カゴメ本社としてのアイデンティティを表現しつつ、街並みに配慮した計画とする。
LR1 エネルギー	LR2 資源・材料	LR3 敷地外環境
BEE値に配慮した設計を行い、省エネを図る	節水型衛生器具を採用すると共に、リサイクル材を使用することでエネルギーに配慮した計画とする。	光害防止等、周囲に配慮した敷地外計画を行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

#### カコメビル建替えプロジェクト

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				4.5
LR1	エネルギー	4.7	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.090188422	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009018842	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045094211	
3. 循環型社会				4.1
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	4.3	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.7	0.01875	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 4.5



#### 2. 自然共生

評価点 = 2.9



#### 3. 循環型社会

評価点 = 4.1



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み})\text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。